

サロン・あべの

Vol. 132



<サロン・あべの>5月の出会い

「アンサンブル ひまわり」
コンサート

日時;平成9年5月17日(土)
開場;午後1時
開演;午後1時30分
場所;幸分ホール(前編3階)

サロン・あべの5月の出会いは、アンサンブルひまわりのみなさんによるコンサートでした。全体をいくつかのコーナーに分け、演奏と歌を楽しませていただきました。

まずは、全員演奏で:

・TOP OF

THE WORLD

・夜霧のしのび逢い

・少年時代

アンサンブルひまわりの紹介のコーナーに続いて、増倉時郎さんによるギターのソロ演奏

・禁じられた遊び

・アストリアス

・ラ・クンパルシータ

有藤理恵さん、佐藤千恵子さんによるフォークソングのコーナー

・君を忘れない

・アイラブユー

・フォーユー

・トゥルーラブ

正岡真紀さん、沖田一恵さん、
西山真理子さん、大山正枝さん
によるクラシックのコーナー

- ・メヌエット(グルック)
- ・メヌエット(バッハ)

締めくくりは、全員演奏の
パートⅡ

- ・星に願いを
- ・いい日旅立ち
- ・ドレミの歌

アンサンブルひまわりのみな
さんのごあいさつの後、この日
の参加者全員に一言ずつ感想を
お伺いしました。

最後に、アンコールの要望に
応えて、アンサンブルひまわり
のオリジナル曲「フォーユー」
を歌っていただきました。

アンサンブルひまわりは、平
成3年1月に、正岡さん、増倉
さんら4名で結成されました。

「障害を持つ人も持たない人も
音楽を通して楽しく交流する中
で理解を深め、尊重し合い、学

び合って、音楽性の向上と共に
一人一人が成長して行きましよ
う」という趣旨に賛同した仲間

が次々に集まり、メンバーは現
在14名に増えています。アンサ
ンブルひまわりという名前は、
練習場所である豊中市立障害福

祉センターひまわりにちなんで、
また、暑い太陽の下、空に向っ
て大輪の花を咲かせるひまわり

のように一人一人がひまわりの
花びらとなって明るく前向きに
いつかは大きな花を咲かせよう
との思いをこめて名づけられた

そうです。現在もメンバーを募
集中で、音楽が好きな方なら誰
でもOKです。身体にハンディ
を持つ人も、持たない人も、ま

た、今は楽器ができないという
人でもかまわないそうです。
連絡は、代表の正岡真紀さん

(06) 849-5166まで。
参加者(アンサンブルひまわ
りのみなさんを含めて) 40名。

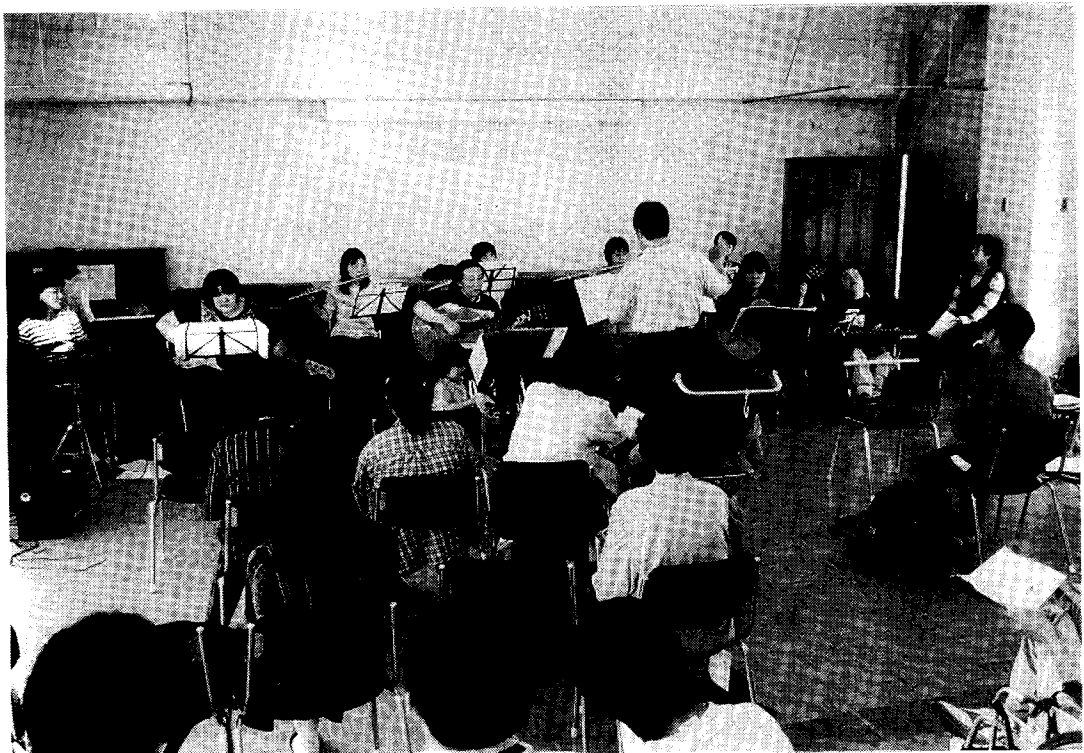


写真 山野荘一氏

サロンとの出会い

与儀 恵美

△サロン・あべのV五月の出会いに、初めて参加させていただきました。

私は、普段、大阪市で初心者向けボランティア講座をボランティアとして運営している立場にあるため、ボランティアなど付く講座や集会には積極的に参加しています。

△サロン・あべのVもある人からの紹介で知り、早速、五月十七日の「アンサンブル ひまわり」コンサートに出席しました。講座などは、だいたい一人で参加すること

再演を楽しむに…

先日は、ご丁寧に御葉書を頂戴致しましてありがとうございます。

当日、皆様の前でも申しましたが、私は以前から先日のようなコンサート(演奏する側とお客様の交流をもてるような)を開きたいと考えておりましたので、本当に嬉

が多いので、はじめて行く場所は、もうそろそろ慣れても良いはずなのですが、今回もまた、とても緊張しながら行きました。

「そんなに緊張するならば、行かなければいいのに」と言う人もいますが、私は、緊張してでもなんでも「人との出会い」を楽しみにいろいろな場所に出かけています。今までは、自分の気持ちが元気になったり、納得させられたりということが多かったのですが、今回「アンサンブル ひまわり」の方々に出会ったことにより、今までにはなかった優しい気持ちになることができ、とても感謝、感激しています。

次回は△サロン・あべのVの出会いによ

しく有難く感謝しております。

何かとバタバタしていて、直接あまりお話出来なかったのが残念ですが、また練習を重ねまして△サロン・あべのVでコンサートをさせていただくことを楽しみにしております。取り急ぎ、お礼まで。

「アンサンブルひまわり」

代表 正岡真紀

り、自分の気持ちがどのように変化するか楽しみで、期待しています。

トライアングルの音

冨田慶子

「アンサンブル ひまわり」コンサートで、久しぶりにトライアングルの澄んだ音色を聴きました。単純なあの三角形から、どうしてあのように、軽快でありながら心に深く染み込む音色が生まれるのでしょうか。私が初めてこの音を聴いたのは、小学校一年生の音楽の時間だったと思います。

「海はひろいな 大きいな

月がのぼるし 日がしずむ…

カスタネットと木琴、そしてトライアングルの合奏で奏でられたのですが、「日がしずむ…」のところでは確か、トライアングルが鳴らされたのです。単純な音でありながら簡単には表現できない音の広がり、当時海を知らなかった私にひろい海を想像させてくれました。あれから何年たったでしょうか。海を見ることも何回かありましたが、見るたびに心の奥でトライアングルの音色が響いていたように思えます。その



ことに何の不思議も感じないで過ごしてき
ましたが、この日、中野健君の演奏でその
音色の中になつかしい海を感じました。
もし、差し支えなければ「アンサンブル
ひまわり」のレパートリーにこの歌を加
えていただけたら…と希っています。

さろん亭

熱烈なご協力を…

- ・ 物品を寄贈してくださる方。
- ・ 準備を手伝ってくださる方。
- ・ 販売を手伝ってくださる方。
- ・ 買いに来てくださる方。

8月3日(日)あべの・カーニバルに「さろん亭」
が店開きます。みなさまの熱烈なご協力をお願
いします。

Please Call Me

石田 律 阿倍野区昭和町3-11-13 TEL.06-622-2018
辻本 輝子 阿倍野区阪南町3-40-5 TEL.06-621-2241
富田 慶子 阿倍野区阪南町6-3-26 TEL.06-691-1028
中原 友喜 阿倍野区丸山通2-10-6 TEL.06-652-1208
山村 貴司 東住吉区南田辺5-1-18 TEL.06-691-9071

● 品物をご連絡くだされば取りにうかがいます。

作る つくる 創る 河合恵子

梅雨の晴れ間に

北海道をのぞく日本列島はすっぱり梅雨入り。はじめじめと鬱陶しいこの季節。でも百貨店や呉服店の店頭には涼しげな浴衣と帯、そして下駄や袋物が並びます。近年はより洋服に近いカラフルな色と大胆な柄の浴衣が目につきますが、私はやっぱり藍と白のすっきりとした柄が好き。特に男性の浴衣の連続模様は見ていて飽きません。

ところで先日神奈川県足柄上郡にある野あざみ工房というところへ出かけました。ここは東京から列車で小田原方面に向かって約二時間。丹沢への登山口、新松田で下車してバスに乗り換え一五分ぐらい山に入ったところ。酒匂川という清流が流れ、鮎釣り・蛍狩

りなども楽しめる山里。横浜に住んでいた建築家の家族が町おこしのために、建てられた工房を運営することになってご主人が草木染めと陶芸、奥さんが藍染めを手掛けています。もちろん使

第1回 野あざみ工房展

(陶芸・藍染め)

日時 平成9年6月25日(水)～30日(月)



二條雅美 秋本由紀 及川有枝 河野文枝 原幸美子
甲斐典三 小崎真枝 佐藤多恵子 佐藤野 佐藤幸子
白月深子 奥野清美 高橋幸子 竹内剛行 竹内真直
藤原みくる 谷津江 露木文次 露木みちえ 露田京
新美真直 早野久美子 野川美生子 相沢みん 高田薫子

初回開催 遠藤昌 作陶展

場所: ギャラリー新九郎 (伊勢湯温泉2F)
TEL: 0465-22-1366

用する草木も藍も近くの山や畑に育つたもの。今回も手近な草を大きな寸胴に入れ、沸騰させて約二十分。その液をこしてそこへ湯を通した絹布を入れて染め、次に媒染液につけてという作

業を繰り返して好みの濃さにして水洗い。深い緑のスカーフの出来上がり。ところで紺、浅葱(青)、かめのぞき(水色)といった色のある藍染めには煮出すという作業がありません。生葉でも染まるそうですが、よくテレビで見るのは古くて暗い土間に並んだいくつもの大きなカメ。なかにはタデ科の一年草、藍の葉をきざんで発酵させた液がはいって、そこへ綿糸をかせにして棒にかけてそろりと入れる。今回は高い吹き抜けのある工房のなか、発砲スチロールの現代的な水槽を藍瓶としてそこに染め布を入れました。そして空気にさらして再び、液につける。その回数でだんだん藍より青く、紺になる。弟子が師より秀でるといって「出藍の誉れ」の意味がわかります。

これ はなそう！

その2

ジリツセイカツ

阿部幸恵

「当たり前のことですが……、
『一人暮らし自立生活』
ではありません。」

福祉の中で、よく出てくる言葉です。
特に『自立生活』というと、障害のある人が、アパート等で一人で生活していくことを指す風潮があるようです。

先日、訪れた身体障害当事者が運営している通所センターの所長さんの話から「自立生活といっても、いろいろある。ここでの参加も、例えば、自分でやりたいことを見つけて、活動している人もいれば、こちらが行事的な物を用意した方がいい人もいる。」

そこに通う人は、制度や介助を取り入れて、ほとんどの人がいわゆる「自立生活」を送っています。

ただ、最後に所長は、つぎのように話してくれました。「けれども、こちらでは指図はしない。いろんな形があっというから」。

現在、日本に六八ヶ所となった、障害当事者による自立生活センターには、ピアカウンセラー(障害のあるリーダー)、介助コーディネーター(障害のない人も

担当)がいます。

ちなみに、自立生活センターの始まりは、アメリカ。アメリカのセンターにはピアカウンセラーは存在しますが、介助コーディネーターは存在しません。

ピアカウンセラー、介助コーディネーターは、施設や親元を離れて、自立生活を希望してきた人に、制度の利用や介助者の手配等の援助をするのですが、時に本人が、自分の生活の成り立ちを全部理解していないのでは？と思うことがあります。あるセンターでは、自立生活を希望する人は、必ず、ある一定の「自立生活プログラム(生活のノウハウを学ぶ。ピアカウンセラーが伝える)」を受けなくてはいけない、としています。「でないと、始めてからが大変だよ」とのこと。

長年の施設生活から、地域で暮らし始めた人がいます。「早く出てよかった」と初めは喜びましたが、施設での決められた生活に慣れてしまっていた人に、急展開で開けた自由な生活は、混乱を引き起こしました。では、はたして、この人の混乱を防ぐために、一定の方法を用意するべきだったのでしょうか。

「長年施設に居て、経験を奪われてき

たことは大きなハードルになる」と、ある入所施設の職員が言っていました。

イギリスのケアマネジメントについての講演会で「ケアマネージャーは提供者ではなく、仲介者であるべきだ」とありました。つまり、福祉サービスを求めてきた人に、斡旋するのではなく、紹介するだけ、ということになるでしょうか。

また、障害当事者による情報提供サービスタ体を訪れた時のこと、「一〇ある情報の内、三つがいいと分かっていたら、一〇を平等に紹介しますか、それとも、この三つがいい、と紹介しますか」という問いに「三つがいいと紹介する。いい情報を用意することが、ここの役割だ」と答えてくれました。これは、障害当事者だから言えることだ、と感じました。

指導になるのか、助言になるのか、斡旋になるのか、紹介になるのか、また、器だけの自立なのか、中身もある自立なのか。

必要とするのは誰で、決めるのは誰なのでしょうか？

★眠りと目覚めの振り子

海外の旅先で、とある大学の学生寮に、しばらく泊まることになった。自分でも決して望んだわけではない。学生寮というと、狭い相部屋と、わずらわしい日課を思い浮かべてしまう。それに何よりも、私は学生たちとは年齢が離れすぎている。ところが、もう用意しているという。

見てみると、新築の清潔な個室で、ホテルよりもずっと安い。それに、集団の日課もないようなので、断るのも面倒になり、そこに滞在することにした。

ところが、数日たって、たいへんなことに気づいた。学生たちが、夜おそくまで寝ないのである。まいにち午前二時ごろまで隣室に集まっては、大声で笑い、叫んでいる。ひどいときは午前三時まで、ゲームをして騒ぐ。

廊下を通るときも、もっと静かに歩けばよいものを、勢いよく足を踏み鳴らす。ドアを、思いっきりバタンと閉める。音楽も、信じがたいほどの大きさをかけて

いる。

よほど、一言いってやろうかと思ったとき、ふと、自分が彼らと同じ年のころを思い出した。そういえば、私の両親も私に同じことを言っていた。もう少し静かに階段を降りなさいとか、戸を閉めるときは、そんなに大きな音をたてるなと



か、繰り返し聞かされた。それに、毎日、夜おそくまで起きていたと思う。

夜中の騒音に悩まされながら、私は、彼らがどうして、あんなに騒ぐのかを、よくよく考えてみた。そこに若さがあることは確かに思えた。

若い人たちは、元気があり余っている。

だから廊下を歩くときや、ドアを閉めるときにも、余分な力が入る。小さなことにも大きな喜びを感じ、仲間と腕を組んで叫びさえする。夜遅くまで寝ないのは、日中、勢いがありすぎて、夜になっても、その勢いが止まらないからだろう。こんなに騒がしくても、彼らが平和に共存しているのは、彼らの眠りが深いためだろう。

もっと若い、幼い子どもを考えてみると、やはり周囲の世界の小さな響きを受け、心を震わせ、身体(からだ)いっばいに自分の気持ちを表現しようとしている姿が目につく。子どもは、よく母親の背中から眠っているが、オトナであれば、背負われて眠ることは難しいだろう。揺れは激しいし、通りに出れば、周囲の雑音も大きいはずだ。

子どもや若い人たちは、目覚めるときは、はつきりと目覚め、眠るときには、ぐっすりと眠る。年をとってくると、逆に、

眠りが浅くなり、目覚めていても半分、眠っているようになる。若い人たちの世界が目覚めと眠りとが、はっきりと分かれた白と黒の世界なら、年をとった人の

世界は、白と黒との境目があやふやになり、曇りガラスのような灰色に覆われているのかもしれない。
あるいは、振り子のようなものだろう

本当の自由

おもしろい 姉ちゃん

ある朝、出勤前に駅前を歩いてみると、タクシー乗り場のベンチに、見覚えのある顔が……。平日の午前十時、いるはずはない。だって、三月に無事高校に合格して、あんなに帰りがついていた家に戻っていったのだから。

おそろおそろ名前を呼ぶと、やはり私が学園で初めて入所から担当したY君でした。
高校入学五日で、喫煙で停学処分。その後は、学校に行ったり行かなかったりの日々を過ごしているとのこと



と。彼の茶色の頭髪を見れば、問題児だったが学園にいる間、ずいぶん我慢してたんだなとわかる。

そして、我慢させていただけで、彼の内面は変わっていなかったんだなと思った。尾崎豊が好きな彼は、「自由」という言葉が好きだった。
私は彼に自由の本当の意味を教えられなかった。

田 淵 美登利

か。振り子は、最初は揺れが大きい。しかし、時がたつにつれ、揺れは小さくなる。胎内での眠りが、人としての最も深い眠りであり、出生した直後が、やはり人として最も研ぎすまされた目覚めの瞬間なのだろう。そこから、しだいに眠りと目覚めの落差は小さくなる。

右に左にと揺れていた振り子は、徐々に揺れが小さくなり、やがて、中央に止まる。人もまた眠りと目覚めの間を揺れ続けるが、年をとるにつれて揺れは小さくなる。そして、ついには、眠りでも目覚めでもない瞬間を迎える。

眠りと目覚めの揺れが大きい日々には、揺れない停止した状態は、想像しがたい大きな断絶であるが、揺れの小さくなった老いた人にとっては、自然な成り行きなのだろう。誰もが願うのは、きっとそのような終末なのだ。
(知)

好評の岡 知史氏のエッセー集
「ほんの少しの神に近い部分」
が増刷されました

定価七三〇円

美智子のこんな話

岸田 美智子

成年後見法の課題と 社会福祉士の役割りにについて

最近、痴呆性老人と、知的障害者の財産管理の問題で、新しい制度である成年後見法の動きについて、社会福祉士を対象にシンポジウムがあり参加しました。当日は、二〇〇人近い社会福祉士の方や、関係者の方々が熱心に聞いておられました。当事者の参加はほとんどないようでした。

今までは、判断能力に障害のある人は、禁治産宣告制度を適用されたりして、全く社会的な地位をなくしてしまう場合が多か

ったようです。例えば、免許証なども取れなくなるし、まったく無能力者として、扱われてしまうようです。遺産相続の時に財産を放棄させられると共に、生活そのものが組み立てにくくなってしまふのです。このように、能力があるか全くなしかの判断は、大変難しい判断で医学的にお医者さんの間でも基準はバラバラであったり弁護士の間でも基準はバラバラなようです。このように、一人の人間の生き方を左右する制度なのに、当事者本人の意見や思いがどのようにに反映されていくのか、とても疑問な制度でしたが、この禁治産宣告制度を改善していくために、成年後見法という考えの中に任意制度をもちこんで、老人の方は自分で判断ができるうちに第三者に意志を伝えておくことができるのです。又、知的障害者の場合はその本人の生活をよく知る福祉関係者が委任をうけ、財産相続や生活支援などを、考えていけるようにしていかうとするものです。もちろん、この当事者と委任者と二人の関係でやっていくのではなく、第三機関、例えば弁護士などが適正に行われているかどうか、見守っていくよう

もっていきます。

そして、このシンポジウムの中で、この十月から動き出す予定である大阪後見の支援センター（仮称）についての説明がありました。このセンターは、大阪府、大阪市、堺市の共同事業として動き出す、画期的なものだそうです。対象は、意志能力にハンディキャップのもつ知的障害者、痴呆性高齢者、精神障害者等です。そのセンターの活動内容としては、財産管理だけではなく身上監護（生活支援）等や医療に関する決定等も含めた広い分野での支援活動を考えているようです。もちろん、施設障害者の問題も対象になっています。このシステムには、弁護士会やホームヘルパー等を含めたケース検討会議等ももたれるようです。このような大きな動きは、今後、障害者である私たちの生活を具体的にどのような支援にいつてもらえるのか注目していかたいものです。

今後このセンターの課題として、声をだす事ができない施設障害者や在宅障害者の本心をどこまで吸いあげて受け止めていくかという事が、残されているのではない

でしょうか。また、その手助けに社会福祉士がなれるかどうかという事が今後問われてくると思います。今後の動きに期待していききたいものです。

~~~~~朗読テープのご案内~~~~~

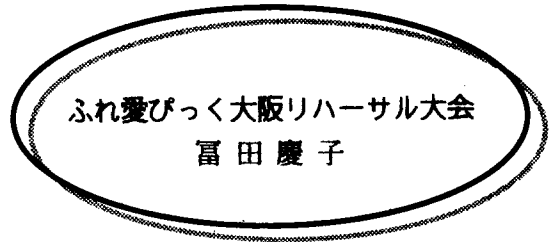
朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、  
 Aサロン・あべのV紙一三二号の録音テープが出来ました。バックナンバーは三九号から、一三二号の分があります。

五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本に、  
 Aサロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー」は、九〇分テープ二本と一二〇分テープにそれぞれ収録されています。

又、絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦、「ラジオたんぱ」(三〇分)放送の『Aサロン・あべのV平成七年五月の出会い』、エッセー集「逃げたヨナ」ポラントニア活動の周辺」(岡本栄一著・表谷恵美子音訳)もあります。

いずれもご希望の方には、ダビングをします。富田までお申し出下さい。

(8)〇六一六九一一〇二八



ふれ愛びっく大阪リハーサル大会  
 富田慶子

先日(五月二四日〜二五日)、秋に開催される第三回全国身体障害者スポーツ大会に先立ち「ふれ愛びっく大阪」リハーサル大会が、大阪市東住吉区の長居競技場で開催されました。

この日、Aサロン・あべのVの委員方も各区の選手団の一員として参加してました。代表の上平幸雄氏は選手として、また私も役員の一人として阿倍野区から、中西利香さんは選手として西成区から、山村貴司氏も選手として東住吉区から…と団体で開会式の入場行進に参加しました。新設の

競技場は二〇〇八年のオリンピック誘致候補にもなっている立派なものでした。

ワールドの所定の場所に落ち着いて、巨大な観覧席をしばし見上げていますと、アナウンサーが選手団を代表して選手宣言をする男女の名前を告げました。その女性の方は、思いがけなくもサロンの中西利香さんでした。大阪府下と大阪市内各区の団旗の元、選手団を代表して中西さんが堂々の選手宣言をされました。健常者でも大舞台ではとまどうでしように、CP障害の彼女が全身で表した宣言は、心に残る立派なものでした。もちろん彼女は水泳で金メダルを獲りました。

各地区の選手が各障害別に競技するので、そのファイトあふれる姿勢には、感激以外のなものありませんでした。大きな大会でしたら記録を持つ人、ベテランの選手がおられ、日頃の練習である程度予測されるものがあるかもしれませんが、今回は広範囲から参加されており、思いがけなく金・銀・銅のメダルを授与された人の感激は大きいものでした。

この大会では、社会福祉専門学校生や多



くのボランティアの方々の熱い声援と温かいお手伝いがありました。その中に「サロン淀川」の委員の方々のお顔も見られ、会場案内や受付のお手伝いをされていました。

ボランティア参加

「サロン・あべの」紙、ありがとうございました。

先日は長居競技場で十一月の「ふれ愛パ  
ラリンピック大阪」でのボランティアのり  
ハーサルに早朝より行きました。

私は飲物の接待係で、入場式をすませて  
会場より外に出て来られた方々に、スポー  
ツドリンク等の接待をしました。口のきけ  
ない方、車椅子の方、目の不自由な方…  
と、しばらく忙しい時をすごしました。

障害があっても同じ人間、仲良く助け合  
って行きたいと思えます。ボランティア参  
加の方もふえてきました。嬉しい事です。  
何卒御身体お大切に。

森下 公子

# 太刀魚

適度の脂肪があって、淡泊・上品  
な味が好まれる今が旬の太刀魚。  
骨粗しよう症に効用があるといわ  
れる。食用以外に体表面のグアニ  
ン箔は横造真珠の原料にも。  
なにがなんでも「かるた」です。

養育費 かも毎半二五円

お知らせ

△サロン・あべのV七月の出会い

日時 平成九年七月十九日(土)

午後一時～四時

場所 育徳コミュニティセンター二階

(車いすトイレ・スロープあり)

〒545 大阪市阿倍野区阪南町五-

十五-二八

内容 「障害者とスポーツ」

アーチェリーを中心として

パネラー ファインプラザ

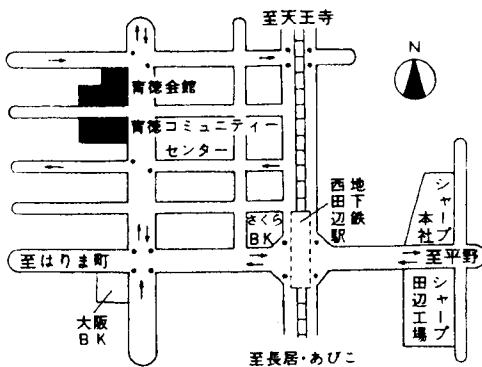
大阪アーチェリークラブ会長

御前敏一氏

会費 なし

お問い合わせ先

TEL 06-6911-0218 (富田慶子)



アメリカのトラッキーさんからのお便り

とを作り上げることができることをすべての人に見てもらいたい気持ちが、一層そのようにさせるのかもしれない。

また今は、駅前市場の前にある店でだけ営業しています。その場所はそこで仕事をしてきた女性の方から苦勞して手に入れ、家内と一緒に2人で店を守っています。

夕方、家に戻れば、子供に宿題や英会話を教えたりします。時間が空けばそのたびに、A. F. K. N. (駐韓アメリカ軍放送)、アランTV (外国語放送)、N. H. K. などを見ながら外国語の発音を習ったり、駐韓外国人たちと会って英会話を習ったりしています。本当に楽しい毎日です。

障害は決して未来を暗くするものではないと、私はいつも思っています。ただ、挫折と度を越した意欲喪失が原因で、すべての可能性が灰色に見えてしまいます。もちろん、社会の誤まった認識や扱いが、理由のひとつでありますけれども・・・

富田様も、しばしば外出なさって、あらゆることにもっと意欲をお持ちになれば、今まで感じなかった新しい活力の素が、体の中に湧き上がるものをお感じになるかもしれません。私も、車椅子で通っていますが、天気に関係なく毎日近い時には2~3km、遠い場合は数百km以上の遠距離で旅行をします。もちろん、旅行地で宿泊するので、私の家族(4人)全員が行きます。よく外食をしたりして、とにかく周囲の一般の人や障害者のみんなが、少し羨ましがっているようです。家も、商売を始めて3年ばかりで買ったのですから。

障害者大会には結婚前によく参加していたので、全国障害者体育大会と機能競技(技術)等々に出場しました。

韓国では毎年、障害者体育大会、機能競技大会など多彩な行事が繰り広げられます。

車椅子マラソン、競走、バスケットボール、テニス、卓球、砲丸投げ、アーチェリー、射撃、そしてサッカーを除くいろいろな競技があって、障害者のど自慢など数多くの行事が続きます。参加する障害者団体もとても多く、いちいち列挙することができないほどです。

それにもかかわらず、いまだにスウェーデンやドイツなど先進国に比べれば、社会福祉施設が余りにも貧弱なため、私たちの社会活動が制約されていて、就職も同様に難しく、障害者福祉館に係わる方たちの努力と協力がいつそう要求されている現状です。日本はどうでしょうか。

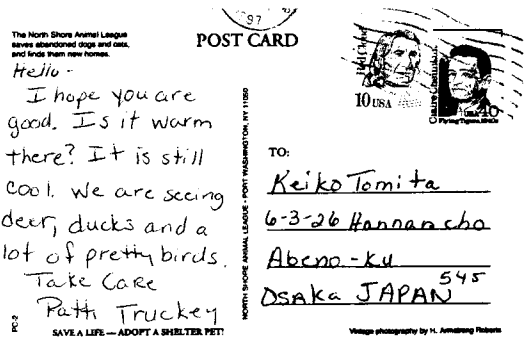
韓国の花は今、黄色いケナリ(\*チョウセンレンギョウのこと)の花が咲いています。私も花はとても好きですが、花の値段がなにして高く、心ゆくまで楽しめます。直接育てるには時間と条件が合わず、見るだけの時が多いです。

では、次回にはもう少しよい知らせで手紙を差し上げようと思っています。

健康な日々をお送りになるよう願っています。

1997. 5. 7.  
大邸にて 馬 泰植 拜  
\*印( )内は訳者注。

訳者=出口美和



こんにちは

お元気ですか。そちらは暖かいですか。

こっちは、まだ寒いです。毎日、鹿やあひるや可愛い小鳥をいっぱい見えています。

では、お体に気をつけて。

パティ トラッキー

WELFARE HEARTS YOU!! DANCE '97

ボランティア&参加者募集!

「すべての障害者と健常者がバリアフリー」という理念のもと、「ダンス」をキーワードに「ウェルフェア ハーツ ユー ダンス '97」を開催します。ご参加、ご協力をお待ちしております。

<スケジュール>

- a. 車いすディスコダンス
- b. シャンテ ロックライブ
- c. プロダンサー ショータイム
- d. ミスHearts you! コフト
- e. ダンスタイム
- f. プレゼント(先着100名)

日時=平成9年7月6日(日)

開場: 14時、開演: 15時

場所=大阪 梅田ステラホール (梅田スカイビル 空中庭園内)

主催=あいのカエル

WACS(ワックス)

チケット; 前売=2500円

当日=3000円

☆お問い合わせと申込先

あいのカエル; 担当=引田

TEL. FAX 06-366-6137





サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」7月の出会い

日時 ; 平成9年7月20日(日)  
午後1:30~4:00  
場所 ; 淀川区在宅サビセンタ「やすらぎ」  
[淀川区三国本町2-14-3]  
内容 ; 「腹話術の魅力について」  
腹話術研究所所長、ウイズ東淀川スタッフ、元岸和田市立幼稚園教諭。プロ並の腹話術を用い老人ホーム等で大活躍中。

パネラー ; 境 イツ子 氏  
会費 ; なし  
問い合わせ先 ; 淀川区社協 絆ソテア・ビューロー  
TEL06-394-2900

■「ウイズ東淀川」7月の出会い

日時 ; 平成9年7月13日(日)  
午後1:30~4:00  
場所 ; 大阪市立東淀川会館3階  
(エレベーター有り)

内容 ; 「中途障害を乗り越え、パラリンピック出場」  
~ビビットな車椅子ランナー~  
パネラー ; 伊丹市保健所職員  
野崎 輝 男 氏  
会費 ; 無料  
問い合わせ ;  
TEL・FAX06-340-3082 鈴木昭二



感謝



カンパ、切手、葉書、写真、クッキー、  
カンブルキーホルダー、カセットテープ、  
冊子等のご寄贈、ありがとうございます。  
お礼を申し上げます。  
アンサンブルひまわり、磯崎章一、  
稲垣恵雄、大塚一枝、坂井柁子、  
崎本ヒサエ、高木陽子、定兼万代子、  
表谷恵美子、松本妙子、水戸春子、  
山田絹代、その他の方々

FROM EDITOR

編集後記

<サロン・あべの>5月の出会いのコンサートで、中でも、アンサンブル ひまわりのオリジナル曲『For You』に、参加のみなさん大へん心打たれたようでした。月何があっても生きて行こう 必ずいい事があるから さびしくないよ この空の下 あなたを愛する人がいるから・・・また聞かせてください。そう、『海』もいっしょに…ね。(石)

編集人 ; サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.132[97. 6. 21. 発行] 定価¥100.  
代表 ; 上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365  
連絡先 ; 富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028  
表題 ; 井上憲一・筆 文中イラスト ; 石田美禰子  
郵便振替口座 ; サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷 ; セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDE#2F ☎06-719-8212 ☎06-719-8213

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)